

# PowerPointの音声録音方法と MP4形式の動画作成マニュアル

# 目次

最低限必要な機能	P. 3
注意事項	P. 4
Windows   マイクの確認方法	P. 5
Windows   PowerPoint2019/Office 365の場合	P. 6
Windows   PowerPoint2013の場合	P. 11
Windows   PowerPoint2010の場合	P. 15
Mac       マイクの確認方法	P. 19
Mac       PowerPoint for Mac 2019の場合	P. 21

# 最低限必要な機能

## 1. 音声入力ができる環境

- ・ PC内蔵マイクを使用する
- ・ ヘッドセットなど、外付けマイクの使用する

## 2. 特定のバージョンのPowerPointを搭載していること

- Windowsの場合→ PowerPoint 2010, 2013, 2016, 2019, Office 365 のいずれか
- Macの場合→ PowerPoint for Mac 2019, Office 365 のどちらか

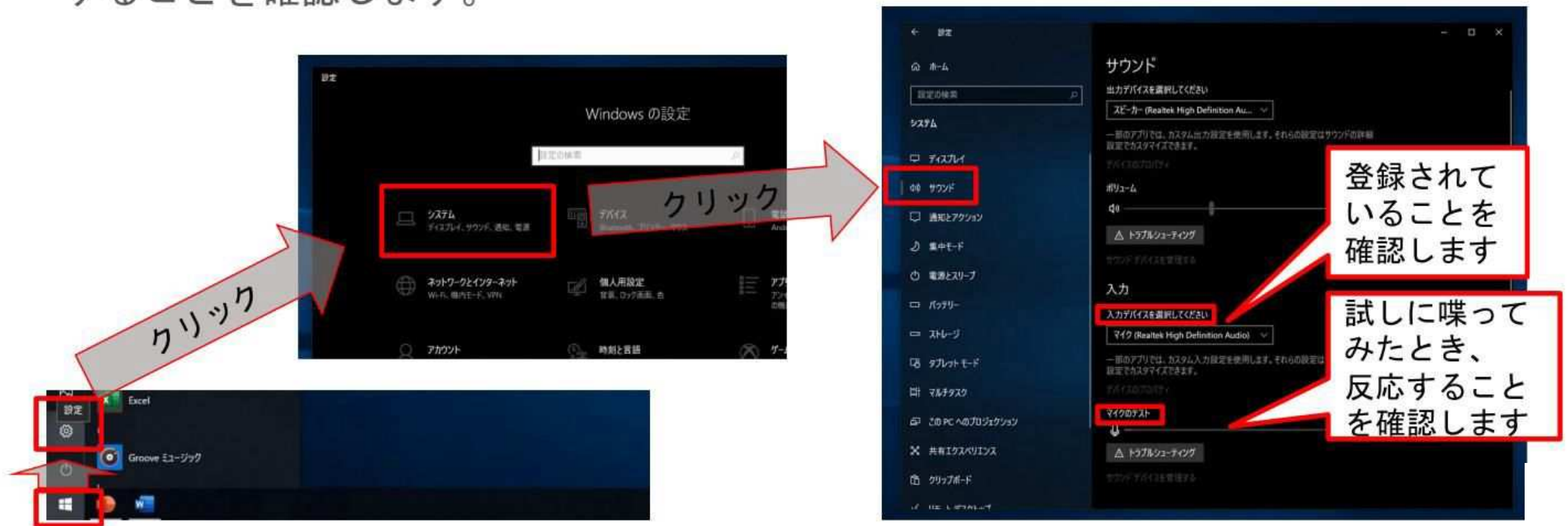
# 注意事項

- ・ 音声付きスライドは、容量が大きくアップロードの際に失敗する例が見受けられます。  
MP4形式に変換後の提出を推奨いたします。
- ・ 一般演題（口演）は、5分以内にまとめてください。  
MP4形式の動画ファイル作成には、作成したスライドショーの長さと同程度の時間を要します。
- ・ 指定演題の作成時間については個別にご連絡しております。  
ご不明な場合は運営事務局までご連絡ください。
- ・ PowerPointの1枚目はタイトルスライド、2枚目に利益相反スライド、  
3枚目に「医の倫理」手続きの申告スライドを入れてください。
- ・ 非表示設定をしない限り、全てのスライドが動画変換時に組み込まれてしまいます。  
プレゼンで使用しなかったスライドや、動画に入れたくないスライドは、  
削除もしくは非表示スライドに設定してください。
- ・ 作成した音声付きスライドは、必ずご自身で再生して、ご確認ください。

お問合せ先：第56回日本腹部救急医学会総会 運営事務局  
株式会社コングレ内 E-mail:jsaem56@congre.co.jp

# Windows マイクの確認方法

「スタート」>「設定」>「システム」>「サウンド」と選択し、入力デバイスが登録されていることを確認します。「マイクのテスト」では試しに喋り、反応することを確認します。

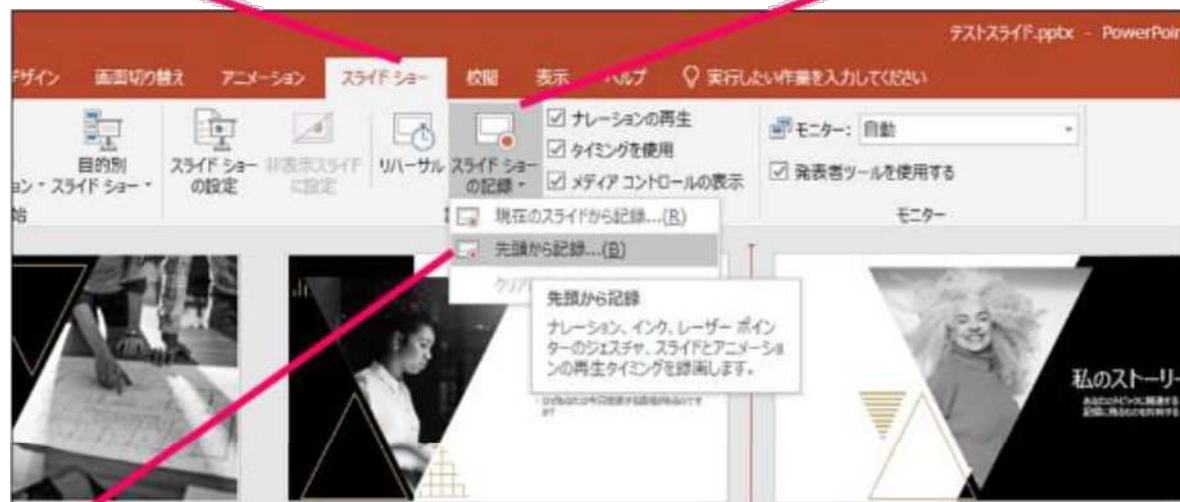


# Windows PowerPoint2019/Office 365の場合

①[スライドショー]  
タブをクリック

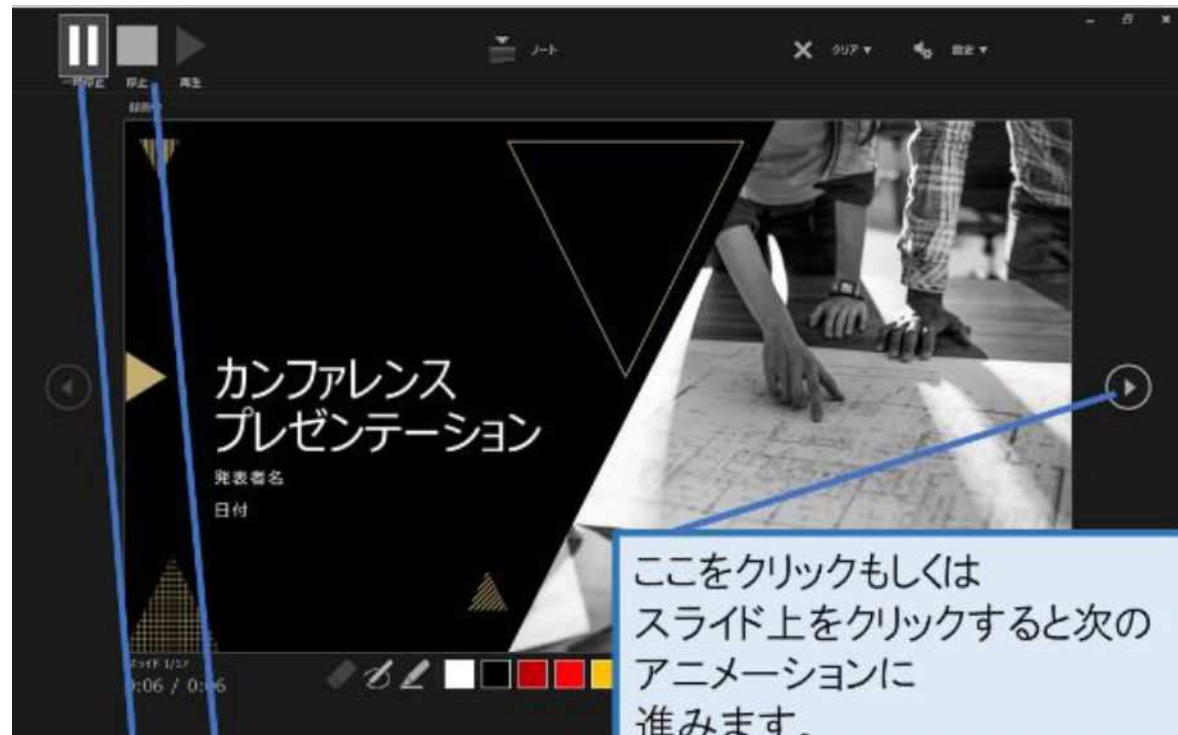
②[スライドショーの記録]をクリック

④[記録の開始]をクリック



③[先頭から録音]をクリック

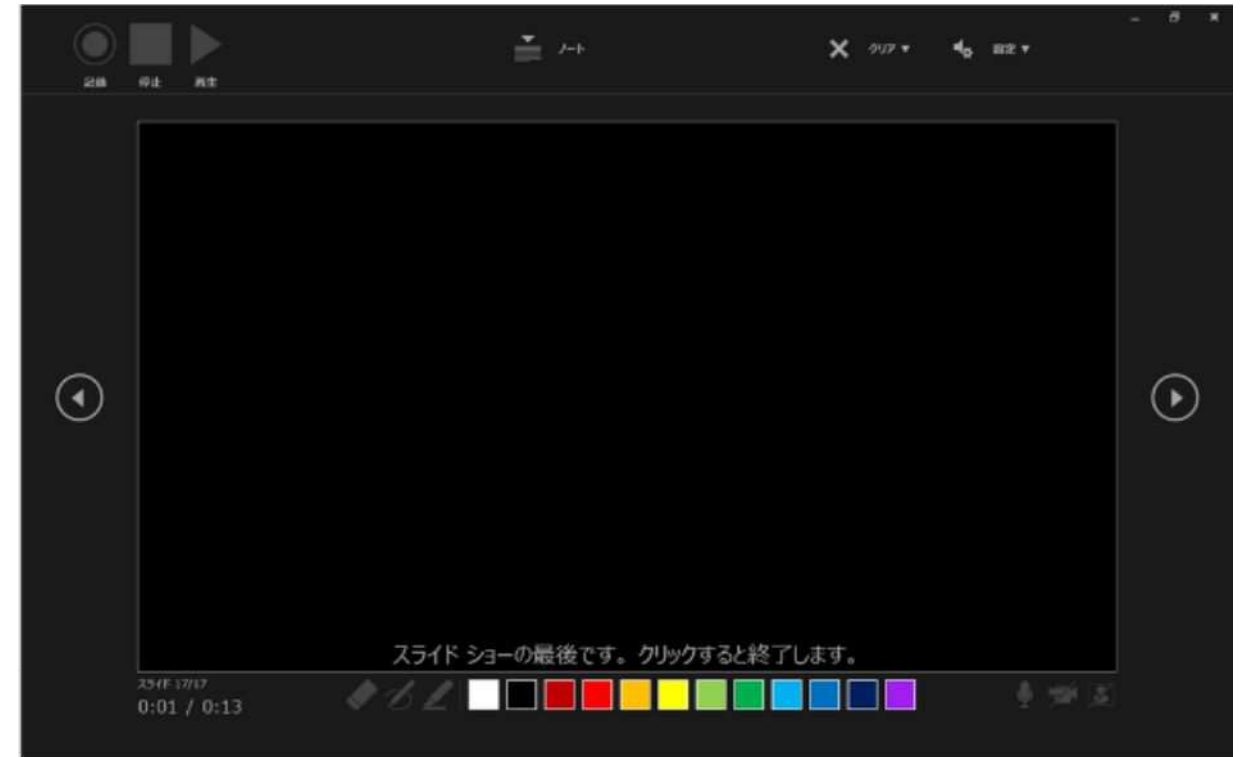
⑤マイクに向かってナレーション録音  
スライドも任意のタイミングで進める



[記録の停止]をクリックすると  
そこまでの記録が残ります

[記録の一時停止]をクリック  
すると、再生中のアニメーションが止まります

⑥下記画面まで進めると自動的に録画が停止になります。  
スライドをもう1枚進めると元の画面に戻ります。







- ⑦ スライドショーを最後まで進めて終了して、スライダー一覧表示にみていただくと、各スライドの左下に時間が明記されていることを確認。PowerPointを保存(新しく名前を付けて保存)する。再度ファイルを開きスライドショーで確認して、音声やスライドのタイミング等問題がないか確認。

## ■ MP4形式に変換する場合

⑧スライドを確認して問題なければ、書き出しを行う。  
[ファイル]→[保存と送信]→[ビデオの作成]  
で書き出します。



ビデオ解像度は[1280×720]を選択



[記録されたタイミングとナレーションを使用する]を選択

最後に、「ビデオの作成」をクリックすると、すぐに「名前を付けて保存」というウィンドウが現れます。ファイル名を指定し、ファイル形式では**MP4形式**を選択します。右下の「保存」をクリックすると、動画が作成され自動的に保存されます。

動画作成の進捗は、右下に表示されます。

動画を作成する時間は、スライドショーとほぼ同じ時間がかかります。

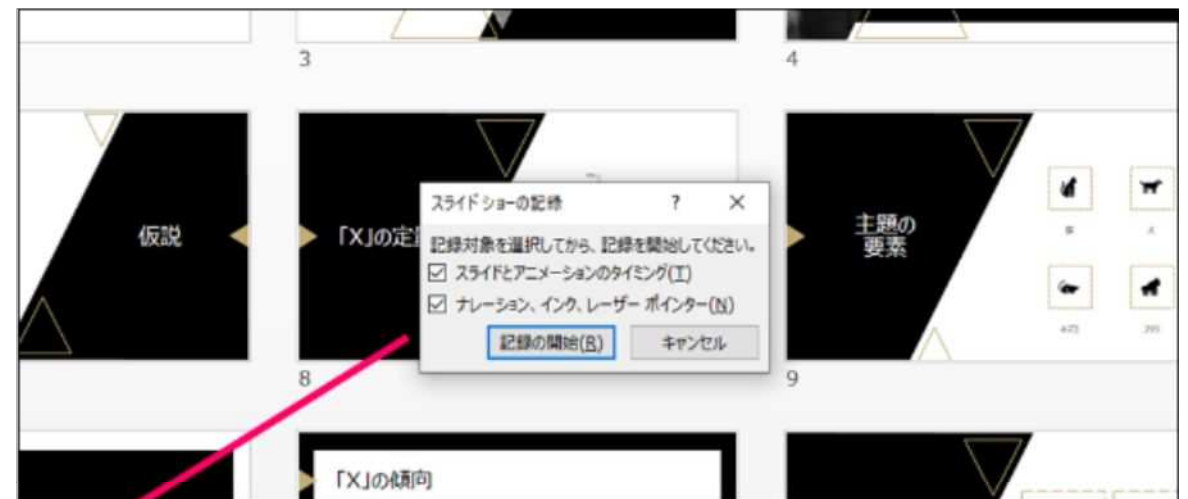
# Windows PowerPoint2013の場合

①[スライドショー]  
タブをクリック

②[スライドショーの記録]をクリック

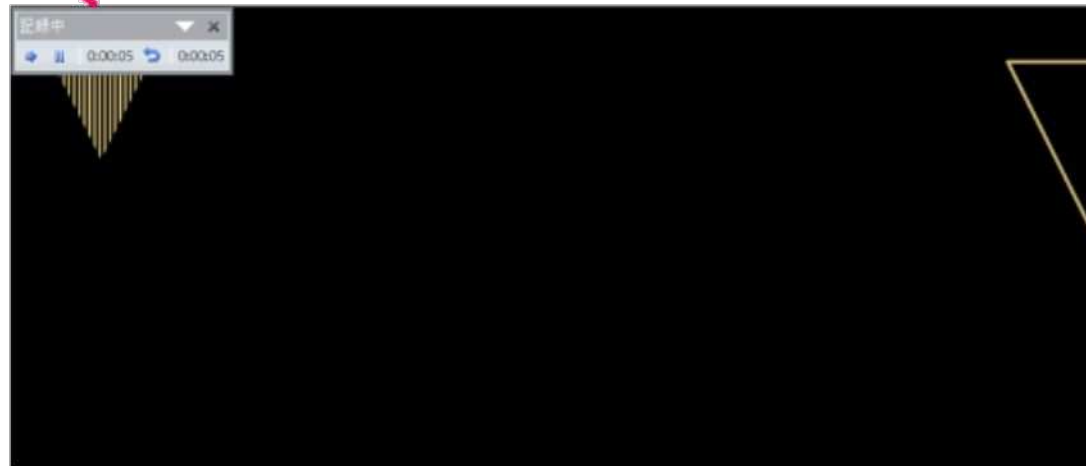


③[先頭から録音を開始]をクリック



④[スライドショーとアニメーションのタイミング]  
[ナレーションとレーザーポインター]のチェックが  
入っていることを確認して記録の開始

⑤ 左上の記録中を確認し、プレゼンテーションを進める



⑥ スライドショーを最後まで進めて終了して、スライド一覧表示にみていただくと、各スライドの左下に時間が明記されていることを確認。PowerPointを保存(新しく名前を付けて保存)する。再度ファイルを開きスライドショーで確認して、音声やスライドのタイミング等問題がないか確認。

## ■ MP4形式に変換する場合

⑦スライドを確認して問題なければ、書き出しを行う。  
[ファイル]→[保存と送信]→[ビデオの作成]  
で書き出します。



ビデオ解像度は[1280×720]を選択



[記録されたタイミングとナレーションを使用する]を選択

最後に、「ビデオの作成」をクリックすると、すぐに「名前を付けて保存」というウィンドウが現れます。ファイル名を指定し、ファイル形式では**MP4形式**を選択します。右下の「保存」をクリックすると、動画が作成され自動的に保存されます。

動画作成の進捗は、右下に表示されます。

動画を作成する時間は、スライドショーとほぼ同じ時間がかかります。

# Windows PowerPoint2010の場合



①[スライドショー]  
タブをクリック

②[スライドショーの記録]をクリック



③[先頭から録音を開始]をクリック



④[スライドショーとアニメーションのタイミング]  
[ナレーションとレーザーポインター]のチェックが  
入っていることを確認して記録の開始



The screenshot shows a video player window. The main area is black, with a yellow triangle on the right side. The player controls at the top left include a progress bar at 0:00:05, a volume icon, and a close button.



**⑥** スライドショーを最後まで進めて終了して、スライダー一覧表示にみていただくと、各スライドの左下に時間が明記されていることを確認。  
PowerPointを保存(新しく名前を付けて保存)する。  
再度ファイルを開きスライドショーで確認して、音声やスライドのタイミング等問題がないか確認。

## ■ MP4形式に変換する場合

⑦スライドを確認して問題なければ、書き出しを行う。  
[ファイル]→[保存と送信]→[ビデオの作成]  
で書き出します。



ビデオ解像度は[1280×720]を選択



[記録されたタイミングとナレーションを使用する]を選択

最後に、「ビデオの作成」をクリックすると、すぐに「名前を付けて保存」というウィンドウが現れます。ファイル名を指定し、ファイル形式では**MP4形式**を選択します。右下の「保存」をクリックすると、動画が作成され自動的に保存されます。

動画作成の進捗は、右下に表示されます。

動画を作成する時間は、スライドショーとほぼ同じ時間がかかります。

# Mac マイクの確認方法

「システム環境設定」>「サウンド」>「入力」をクリックし、入力デバイスが登録されていることを確認します。「選択した機器の設定」では試しに喋ったときに反応するか確認します。



# PowerPointでのマイク入力の確認

「システム環境設定」>「セキュリティとプライバシー」>「プライバシー」>「マイク」を選択し、PowerPointの項にチェックが入っていることを確認します。



# Mac PowerPoint for Mac 2019の場合



# PowerPointでの録画の準備

PowerPointでスライドを開き、1枚目のスライドが選択されているのを確認します。「スライドショー」>「スライドショーの記録」をクリックすると、自動的に、画面がプレゼンの発表者ビューに切り替わり録画が開始します。

1枚目が選択されている状態であればOKです。

カーソルを合わせたとき、「先頭から録音を開始」という注釈が現れることがあります。

クリックすると画面が切り替わり録画が開始する

001 001 23:01 このスライド

ショックとは  
突然の出来事により、  
経路・経路の伝達状態を引き起こし、  
代償性や過剰性による異常な状態。

ショックについて

1/8

# スライドショーの実施

いつも通り、スライドショーを行ってください。ペンやポインター等も使えますが、**最終的に動画で記録されるのは、スライド移行のタイミングと音声のみ**です。また、**前のスライドに戻ると、戻ったスライド以降の録音を取り消されることに注意してください（前のスライドに戻るのは推奨しません）。**

記録中も、左下のスライドショーツールバーから、一枚目または一個前のスライドに戻れます。ただ、戻るのは推奨しません。



左下のツールバーからペン、蛍光ペン、ポインターが使えますが、これらに関しては記録されません。



# スライドショーの終了

スライドショーを終え、左上の「スライドショーの終了」をクリックすると、「今回のタイミングを保存しますか？」という質問が現れるので、「はい」を選択します。

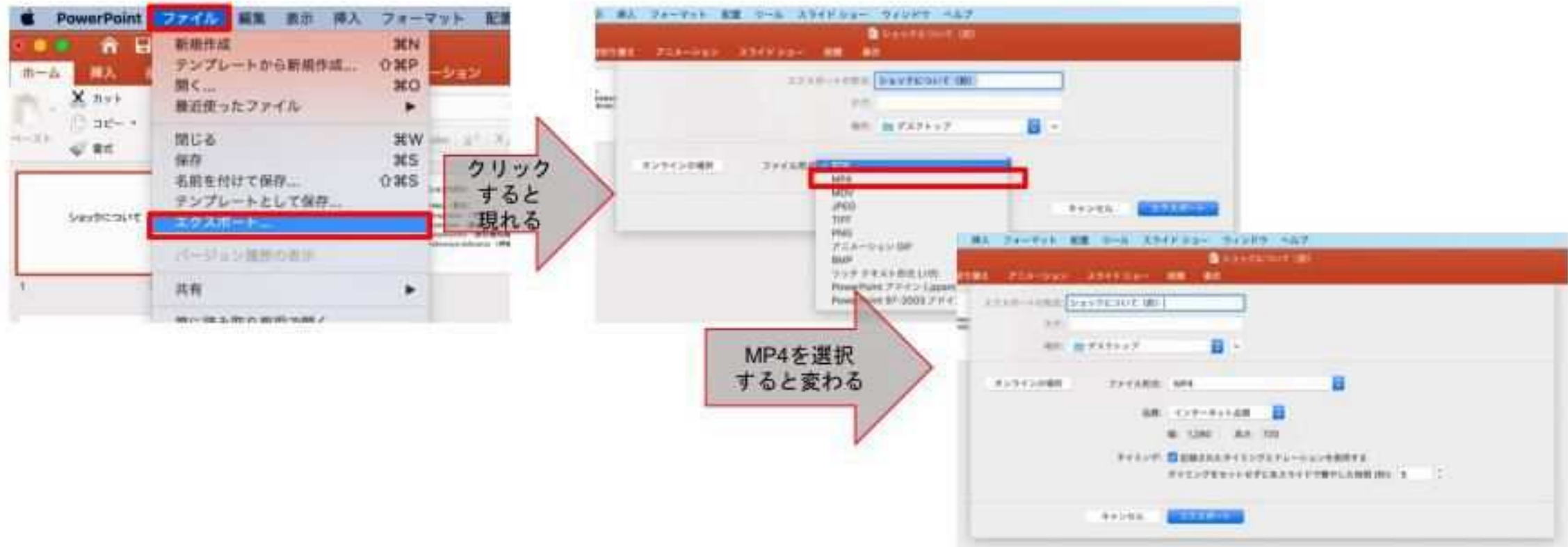




## ■ MP4形式に変換する場合

# 保存先の選択

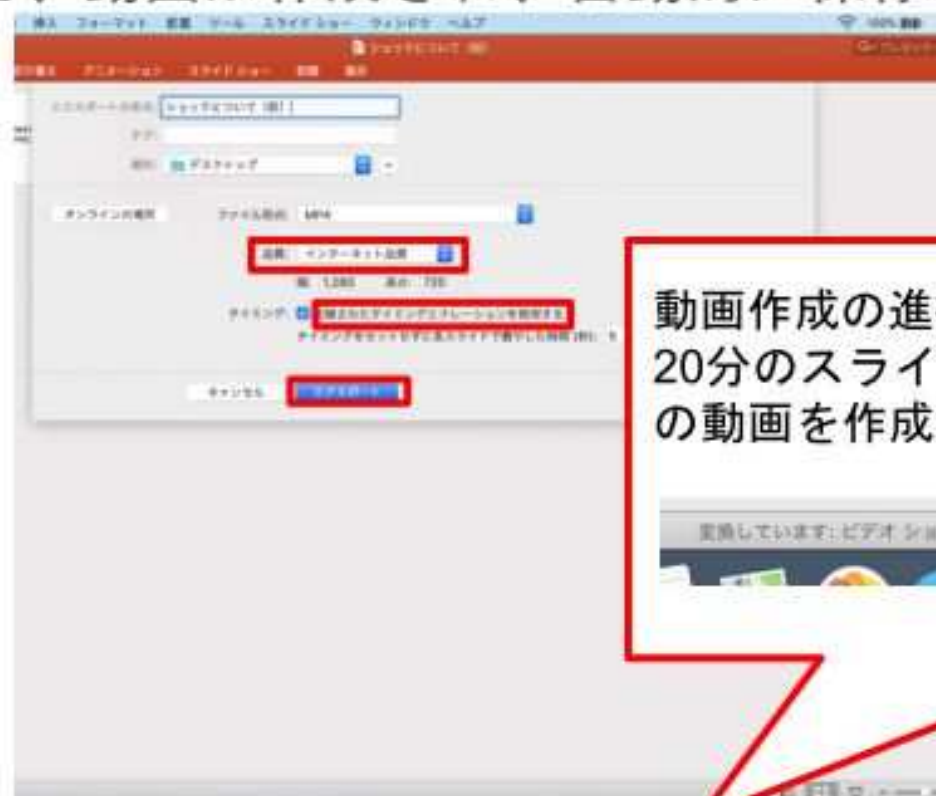
「ファイル」>「エクスポート」をクリックすると、ウィンドウが現れます。ファイル名、保存先を選択してください。ファイル形式でMP4形式を選択すると、詳細が設定できるようになります。



※PowerPoint for Mac 2016の場合、MP4形式での保存ができないため、pptx形式で保存してデータをご提出ください。

# 画質の選択、動画作成と保存

品質は「インターネット品質」を選択し、「記録されたタイミングとナレーションを使用する」にチェックがついていることを確認します。「エクスポート」をクリックすると、動画が作成され、自動的に保存されます。



動画作成の進捗は、右下に表示されます。  
20分のスライドショーから中程度の品質(1280×720)の動画を作成するのに約10分かかります。

